



南小だより



櫛引南小学校

令和8年3月26日

1年間のご支援、ありがとうございました

校長 奥山 徹

長い冬を越え、山々の雪解けとともに、春の訪れを感じる頃となりました。グラウンドの雪も日に日に少なくなり、子どもたちが元気に走り回れる日を、今か今かと待ちわびているかのようです。

64名のみなみっ子が全員、現在の学年を修了し、また、12名の6年生が南小を巣立っていきました。今年一年、たくさんの成果や活躍を見せてくれたみなみっ子一人ひとりのがんばりに、「おめでとう」と「ありがとう」の言葉を送ります。とくに6年生は、「憧れられる6年生」をめざし、学校の諸活動において頼もしいリーダーシップを発揮してくれました。卒業式では、凛とした制服姿で、自信に満ちた表情で卒業証書を受け取る姿がとても印象的でした。

この卒業式の日まで、子どもたちがつつがなく過ごすことができたのは、地域の皆様、保護者の皆様のご理解とご支援があってこそのことだと、つくづく感じております。心より感謝申し上げます。

4月には、5名の新入生を迎えます。新たな出会いのもと、「全員が笑顔の学校」を目指して努力を重ねてまいりますので、来年度も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

未来を拓く12人へ ～最後の贈る言葉～

花は咲く

できないことがたくさんあっても

できることはある

まわりの人が順調に見えても

自分のみちがある

ダメなところがあるから

良いところが輝き

つらいところがあるから

喜びを感じられる

できることを続けられ

いつしか花は咲く

(田口久人さん)

『きっと明日はいい日になる』より)

